

令和3年度 IT業界働き方改革サポート事業

発注者・受注者で実現する  
IT業界の働き方改革

熊本編

# 個人の自律と成長を促す 新しい働き方の実現に向けて

# 個人の自律と成長を促す 新しい働き方の実現に向けて

はじめに	03
1. 地域で目指すべき働き方	04
2. 労働環境の実態	05
3. 生産性を高める働き方に向けて ～発注者と受注者が協働して取り組むべき施策の方向性～	14
参考情報 熊本県 テレワーク推進事業、ブライツ企業制度等	16

# はじめに

## IT業界をめぐる環境の変化

今日の世界は、人類と地球の持続的発展に向け、組織や人々の行動様式を変革し、地域間格差を解消するため、環境、経済、教育、生活等の全ての領域において目標を共有し、デジタル技術を活用することにより“あるべき社会”の実現を目指しています。

我が国でも、人が輝くデジタル社会を創るため、企業のDX投資が本格化し、政府のデジタル政策も動き始め、IT業界とそこで働く人材の役割がより重要になってきました。

一方、日本は先進国の中でデジタル国際競争力が遅れ、特にデジタルに係る技術と人材において早急な対策を必要としています。しかし、あらゆる産業においてデジタル人材が不足し、IT業界においては、先端技術でDXを推進する人材から、社会基盤である既存システムを改善・運営する人材まで、質と量の両面での人材不足が深刻な問題となっています。

## これからの働き方

近年、私たちは大規模な災害や感染症の流行等を経験し、働くことの意義と働き方に対する考え方がより多様になるきっかけを感じています。企業は、優秀な人材に活躍してもらうためには、社員の多様な思いにどれだけ寄り添えるかが問われています。企業として利益を追求することは、もちろん組織の成功のためには重要なことではありますが、経営の先には社会があり、その社会課題の解決にどう貢献しているかが問われています。

会社にとっては、社員にやりたい仕事を提供出来ているか、社員のなりたい意欲をサポート出来ているか、社員と会社との繋がりを実感させられているかが重要になり、優秀な人材の定着にも影響してきます。また、社員がモチベーション高く、シニア世代まで長く活躍するには、心身の健康を保つことが働き方の基盤でもあり、そのための環境が会社として不可欠な機能にもなっています。

会社に人と仕事が集まる働き方から、リアルとリモートの最適な組合せにより時間と場所にとらわれず、仕事の効率だけでなく関係者とのコミュニケーションを大切に出来る働き方、仲間と、会社・上司と、顧客と、家族と、社会との絆を深める働き方、個人の自律と成長を促す働き方、そんな働き方がますます求められていくことでしょう。

## 本書の趣旨

IT業界で働き方改革を推進するには、業界の特性でもある受託型ビジネスにおける多重下請構造での発注者と受注者が目的を共有し、お互いが出来ることを行動に移すことが重要になります。本書では、熊本県におけるITビジネスの特性や慣習、環境変化を踏まえた上で、労働環境やプロジェクト運営の実態や課題、また課題解決に向けた方策をご紹介します。

本書を通じ、発注者・受注者が良好な関係を築きシステム開発を円滑に進め、ひいては双方にとっての働き方改革の実現にも繋がり、魅力ある熊本地域を創っていくことの一助になれば幸いです。